

2025年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース			教科担任	
国語	国語研究A	2	2年次（選択）			齊藤裕子	
使用教科書				使用副教材	自主教材（学校設定科目のため）		
科目の目標					道徳教育のねらい		
各年代の様々な作品に触れることにより、文章を的確に理解したり、自己の考えを表現したりする基礎的な能力を高める。					人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。		
学習活動内容		市函DP（本校で身に付けさせたい6の資質・能力）					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
1	現代文 随筆	○	○	◎			
2	現代文 評論	○	○	◎			
3	現代文 小説	○	○			◎	
4	古文 説話	○	◎				
5	古文 物語	○	◎				
6	漢文 小話	○	◎				
7	漢文 史伝	○	◎				
評価の観点	知識・技能		思考 判断 表現			主体的に学ぶ態度	
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。						
	A: 目標に対する到達度が70%～100%		B: 目標に対する到達度が45%～69%			C: 目標に対する到達度が0%～44%	
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組		提出物	考査	
	知識・技能	○	○		◎	◎	
思考・判断・表現	○	○		◎	◎		
主体的に学ぶ態度	◎		◎		○	○	

国語研究A 授業計画

授 業 計 画				実 施 状 況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
4	現代文随筆(4) ・読解および要約文の作成 ・意見文の作成	学ぶことの意味を、自分自身で考える契機とする。また、自己の体験や価値観について文章にまとめ、抽象的な事柄について考える力を養う。	・随筆文の読解、要約(2) ・意見文の作成(2)	4	
5	現代文評論(8) ・読解および要約文の作成 ・意見文の作成	自分の生きている社会が、どのような課題に直面しているのかを知り、社会と自らの関わりについて考える。	・評論文の読解(6) ・意見文の作成(2)	8	
前期中間考査(1)				1	
6	古文説話(7) ・口語訳と内容理解	古文に対する興味、関心を広げ、現代との関わりについても考える。	・説話文の読解(7)	7	
7	漢文故事(6) ・訓読の習熟	故事成語のもとになった文章を正しく訓読し、叙述に即して的確に読み取る。	・漢文訓読(2) ・口語訳と内容の読解(4)	6	
8	現代文小説(4) ・人物の心情理解	物語に登場する人物についての理解を通して、人の在り方や生き方について考える。	・場面の整理と内容理解(2) ・人物の心情把握(2)	4	
9	古文物語(3) ・人物の心情の理解 ・敬意表現と人物	人物、情景、心情などの表現に即して読みながら、古典世界についての知識を得る。	・敬意表現の理解と内容の読解(1) ・人物の心情把握(2)	3	
前期期末考査(1)				1	
10	漢文史伝(8) ・長文訓読の習熟	文章について、そこに描かれたできごとや人物の特徴を構成や展開に即して読み取る。	・漢文訓読(2) ・場面の整理と内容理解(2) ・人物の心情把握(4)	8	
11	現代文小説(7) ・人物の心情理解	物語に登場する人物を通して、自らの物の見方、考え方を深める契機とする。	・場面の整理と内容理解(3) ・人物の心情把握(4)	7	
後期中間考査(1)				1	
12	現代文評論(6) ・資料、データの読み取り	主題を的確に読み取り、自らと社会の関わりについて考えを深める。	・要約文の作成(2) ・複数資料の比較、内容理解(2) ・データ、表などの利用と文章理解(2)	6	
1	漢文漢詩(4) ・詩情の理解	優れた表現に親しみ、豊かな心情や感性を養う。	・漢詩の規則と文学史的背景(1) ・漢詩の音読(1) ・内容の理解(2)	4	
2	現代文表現(5) ・意見文の作成と表現	表現の特徴や効果を理解した上で、自分の思いや考えをまとめ、適切かつ効果的に表現して他者と伝え合う。	・課題解決のため意見文の作成(5) (資料収集、グループ討議等)	5	
後期期末考査(1)				1	
3	現代文表現(4)		・文章の作成、発表(4)	4	